

リハビリ紹介

通所

70 歳代 男性

パーキンソン病を患いながら在宅生活を営んでいたが、高熱が出て入院となる。症状改善するが廃用症候群にて身体機能低下。入院前の生活ができることを目標に通所開始する。目標は自宅にある10段以上の階段昇降ができる。室内を歩行器で安全に歩ける。姿勢が崩れることなく食事できるようになること。



■ FIM : 75 点 → 94 点 ■

開始時	リハビリ内容	現在
座位姿勢をクッションなどで調整しないと食事姿勢が保持できなかった。躓きがあり、歩行に軽介助が必要だった。TUG20秒 階段昇降に軽介助が必要で10段ほど昇降すると疲労や腰痛が出現した。	<ul style="list-style-type: none">・歩行練習・階段昇降練習・四肢・体幹筋力トレーニング・バランス練習	座位姿勢の調整なしで座位が保持できるようになった。 躓きが減少し、歩行が介助なしでできるようになった。TUG14秒 階段昇降が見守りでできるようになり、持久力も向上し、腰痛の訴えも減った。

喜びの声

本人：歩く時の躓きが減った、食べるのが少し楽になった。
ご家族：家での転倒が減った、ベッドでの起き上がりなどできることが増えた、食事姿勢が良くなった。

